

令和3年度 総合科学コース1年 特別講義

「“面白い” 接着と複合材料と工業」

兵庫県立大学 工学部工学研究科 化学工学専攻 岸 肇 先生

12月21日(火) 10:45 ~ 12:35

今回の特別講義では、接着・複合材料と工業、接着の理論やその最先端の研究について紹介いただきました。「接着」とはということなのか、また、その理解には様々な学問が必要であることがわかりました。最先端の研究技術に関しては、高校1年生の知識だけでは内容理解が難しいものもありましたが、丁寧に説明いただき、将来、研究に携わりたいと思っている生徒にとって、好奇心を掻き立てられる有意義な時間となったようです。

また、大学へ入学してからのイメージも少しずつ出来てきたようです。今高校で学習している内容すべてが、将来どこかで役に立つのではないかと思える、機会となりました。

<生徒の感想より>

・接着のしくみを詳しく知ることが出来ました。ヤモリの足に分子間力が働いていることを知り面白かったです。生物から化学工学へ技術が応用されているということに驚きました。また、車体軽量化のように、研究の先に、社会のみんなの暮らしや環境保全があることが本当にすごいと思いました。今日は進路について深めるいい機会となりました。

・接着のメカニズムを知れてとても楽しかったです。僕は化学が好きで、大学でも学びたいと思っているので集中して聞くことができ、講義の時間経過が速く感じました。大学へ行くと、このような面白いことをずっと学べると思うととても楽しみです。将来は、社会に役立つ研究をしたいです。世界の化学に飛び込んでみたいです。

・多くのものを組み合わせて新たなものが作られていることを知りました。研究には、知識のみならず、発想力や広い視野が必要なんだろうなと思いました。今日は生きていく上でとても大切なことを学べたと思います。

・身近なものに接着が関与していること、またそれが環境問題の解決に貢献することを知りました。最先端の研究で、Geckos に Mussels の DOPA をコーティングしたものを Geckel と呼ぶのは、研究員による命名なのかなと、疑問に思いました。

